

会 議 名	令和5年度 第5回 匝瑳市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和6年3月28日(木) 14:00~15:00
場 所	市民ふれあいセンター 2階会議室
出 席 者	<p>【委員】 (出席:14名) 勝又会長、藤井副会長、鎌形委員、菊間委員、飯島委員、高根澤委員(代理出席:儀部係長)、太田委員、崎山委員、成田委員、熱田委員、渡辺委員、高橋委員、伊藤委員、齋藤委員</p> <p>(欠席:8名) 加藤委員、笹本委員、平山委員、高山委員、橋口委員、小松委員、井上委員、上田委員</p> <p>【事務局】 匝瑳市環境生活課市民協働班 林環境生活課長、小林副主幹、米本主査補</p>
会 議 概 要	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度予算(案)について (2) 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度スケジュール(案)について (3) デマンド型交通の利用状況について (4) その他 4 閉会
会 議 資 料	資料1 匝瑳市地域公共交通活性化協議会委員名簿 資料2 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度協議会予算(案) 資料3 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度スケジュール(案) 資料4 匝瑳市デマンド型交通利用者登録状況等報告書

会議結果概要

(1) 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度協議会予算(案)について

資料2について事務局から説明後、質疑応答

会	長	・ 事務局の説明が終わりました。御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。		
委	員	・ 事業計画の承認はどうしますか。また、市内循環バス利用者アンケート調査支援業務につきまして、調査方法やスケジュールを説明していただきたい。あと、返還金とは何ですか。		
事	務	局	・ 全体の事業計画、スケジュールにつきましては、議題2で説明します。市内循環バス利用者アンケートは、資料3掲載のスケジュールを予定しており、併せて国関係アンケート補助申請を予定しています。調査方法は、市内循環バス利用者を対象に、属性、性別、年齢、利用特性、利用目的や利用頻度など、運行サービスに対する満足度、改善点やデマンド型交通の運行との関連性などを把握するため、調査を行います。調査方法は、バスの乗客へ調査票を渡し、乗客自身が調査票の該当箇所を折り込むビンゴ形式の調査票を活用し、平日の1日、全31便対応で考えています。	
事	務	局	・ 返還金につきましては、国の補助金が来年4月入金を予定しているため、その前に委託事業者を経費を支払う必要があることから、市からの負担金を用いて契約事業者へ御支払いをし、国庫補助金が入金され次第、市に国庫補助金分を含めた返還を予定しているため、返還金という形で予算計上しました。	
委	員	・ 市内循環バスの利用者アンケートにつきまして、市内循環バスの利用者だけでは、デマンド型交通の特性を把握することはできないが、デマンド型交通のニーズを読み取るために利用したほうが良いと思います。		
事	務	局	・ 参考にします。	
会	長	・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。		
委	員	一	同	・ 異議なし。
会	長	・ ありがとうございます。続いて、議事2に移ります。		

(2) 匝瑳市地域公共交通活性化協議会令和6年度スケジュール(案)について

資料3について事務局から説明後、質疑応答

会	長	・ 事務局の説明が終わりました。それでは、御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。	
委	員	・ バスの乗り方教室開催の際に、デマンド型交通の利用に関する内容も含めてはどうですか。また、こちらの資料はスケジュールということですが、事業計画だと思います。令和6年度に行う事業のみが掲載されていますが、他の事業についてはどうなっていますか。	
事	務	局	・ 令和6年5月上旬に予定しています決算承認の書面開催の際に、全事業の進

事務局	<p>抄状況一覧を送付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者が別のため、令和6年度はバスの乗り方教室を開催し、デマンド型交通の運行事業者と相談したうえで、教室の開催と事業計画への掲載を検討します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 運転手の確保につきまして、2024年問題で運転手不足ということは、皆さん御存知とは思いますが、運転手確保のために周知が大事で、こちらに公共交通ニュースの発行と市ホームページ掲載とありますが、市内だけではなくなかなか運転手が集まらないため、県外からも運転手として市内の事業所に就職し移住した場合に引っ越し費用を事業者が負担する等、採用の努力をしています。行政としても一緒になって、何か手当などを考えていただきたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 周知の方は、ハローワークさんと共催で、他種の事例を参考にしながら幅広く行いたいと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市内循環バスの運行で、利用者が待っていたけれど、バスが停まらず行ってしまったという意見が寄せられますが、乗務員目線から利用者へ乗るのか乗らないのか意思表示をお願いしたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗り方教室を開催する前に事業者と打ち合わせを行い、バス事業者から乗車される方に何を伝えたいかを確認した上で、チラシ等での周知、また、教室開催の際にその旨を報告し、説明させていただきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> 異議なし。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。続いて、議事3に移ります。

(3) デマンド型交通の利用状況について

資料4について事務局から説明後、質疑応答

会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局の説明が終わりました。それでは、御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 循環バスが運行しているところも、デマンド型交通でカバーしており、移動そのものを2つの運用で行っています。そのため、それぞれの収支率と利用状況を見て上手くいってないと判断してしまう。今回の場合は、例えば吉田地区は、登録した方がデマンド型交通に移行しようという数字が見えています。こういった交通の選択の仕方が、どういう風に移行しているか、その辺をきちんと追跡することは大事です。特に高齢者の移動支援という形でドアツードアを導入している、目的地は指定された場所ではありますが、移動できる仕組みを作ったということで、これまでは外出機会で少し制約を受けていましたが、出かけても戻れるため、外出機会が増えています。そういう面では、バス利用からの転換もあるし、外出できなかった方が外出して、そういう方を丁寧に拾うことに匝瑳市の移動の問題といったところ、路線型のバスではなかなか行きにくいところを、フォローし合い、きちんと見直しが必要なところは見ていく。

その辺を来年度のアンケート調査の結果に取り込んでいただきたい。あともう1点、伸び率があまり現れていない、そうすると、実際その地域の方たちが平準的な月別の外出行動をしているのかしていないのか気になるし、前回も話しましたが、早い手続きをしたことによって、デマンドを使うことについて、高齢者でしたら忘れているとか、利用の仕方が分からない可能性もあると思うため、案内等をお願いします。75歳以上の方で、タクシー券を使い終わった後に外出すること自体が極端に減ったのか、あるいは続いているのか。続いているとしたら、どうしているのか。そういった面では、本来使えるものが使えていないということで、今ほとんど月別の利用者数に変化がなく、問題なく動いているのが現状ですが、これが追加の車両を出さないといけない、困るくらいに動いてこない、本来の地域活動の活性化には繋がりません。事前の打ち合わせで、以上の事を踏まえて、事務局には、分析のためのデータ作成をお願いします。

事務局 ・ 以前にデマンド型交通の登録をして、その後利用していない方のフォローとして、令和6年3月の広報と5月の広報で、デマンド型交通につきまして再度周知を予定しています。

委員 ・ 1つ目として、目標と利用者について、2つ目にデマントが成り立たなかった件数について、3点目にデマンド型交通によって、地域間幹線系統の輸送需要が影響を受けたかどうか、今の状況を伺います。

事務局 ・ 目標に関しては、1台あたりの目標として、12人が1日利用するという想定で、それに乗り合い率1.1をかけて13.2人を想定しています。今回、資料4の3ページ、令和6年2月のデータで、北部エリア6.63人、南部エリアで6.78人と約半分の利用です。次に、2つ目の、デマンド型交通を予約できなかった方は、令和6年2月で、北部、南部合わせて3件、予約が重複し、遅く予約した方が利用できませんでした。最後に3つ目の地域間幹線系統につきましては、匝瑳市のデマンド型交通を運行するにあたり、地域間幹線系統の多古本線に影響が出ないようにデマンド型交通の運行時間を8時から17時までにし、多古本線の利用者の大半を占める匝瑳高校への登下校の時間帯を外すこと、また、市内循環バスの再編でルート重複を避けることで、地域間幹線系統に配慮しています。

委員 ・ 目標も把握されているという事で、次回以降は報告の際に言っていただくと参考になると思います。また、地域間幹線系統に影響が出た場合には、国県補助がもらえなくなるなど、路線廃止にならざるをえないため、早めの調整が必要だと思います。その点については、御協力、御理解を頂ければと思っております。

委員 ・ 資料が多いため、目次をつけてほしいです。また、集約できる資料は集約してはどうですか。

会長 ・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

委員一同 ・ 異議なし。
会長 ・ ありがとうございます。続いて、議事4に移ります。

(4) その他について

事務局 ・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
事務局 ・ 次回の協議会は、今回ご承認いただいた令和6年度スケジュールに基づきまして、令和5年度協議会決算の承認の書面開催と交通計画掲載事業の現状報告を予定しております。また、監事の御二人には、後日、令和5年度の支出が済み、支出根拠資料が整い次第、御説明に伺いますので、御協力をお願いします。また、委員の皆様が任期が4月末となっておりますので、4月の早い段階で推薦依頼を団体または個人宛に送付させていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。

委員 ・ ドライバー不足につきましては、引き続き運転手確保のため PR していきます。関東運輸局のホームページをご覧ください。

委員 ・ 遅れている方で見えなかった方がいたため、委員定数何名で、今日は何人出席しましたといった最終的な報告をお願いします。

事務局 ・ 委員定数22名で、本日14名の参加となっております。会議の方は成立し、議題の方は全て御承認いただきました。

会長 ・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。それでは、御意見、御質問等がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。以上で、全ての議事が終了いたしました。お疲れ様でした。